

平成28年度第3回総合政策審議会会議録（概要）

◇開催日時 平成29年 2月 2日（水） 午後2時00分～午後3時55分

◇開催場所 烏山庁舎 第2会議室

◇出席者

（審議会委員）中村会長、松本委員、佐藤委員、八木沢委員、棚橋委員、両方委員、網野委員、小堀委員、田島委員、町田委員、吉田委員

（総合政策課）坂本課長

秘書政策グループ 大谷主幹、齋藤課長補佐、関課長補佐

1 開会（進行：大谷主幹）

2 会長あいさつ（中村会長あいさつ）

3 協議事項（進行：中村会長）

（1）第1部本市将来像（基本構想）の現状及び課題の検証について

会長）前回到引続き、7つの基本的視点それぞれについて、意見等を出していただいた。

④地域資源を活用したまちづくり、ひとづくりへの対応

事務局）資料に基づき説明した。

委員）本市の地域資源として何があるのか。

事務局）RESASによる集計では、入込者が行く場所としてゴルフ場、洞くつ酒蔵等が多く挙げられている。公共施設としては、山あげ会館、龍門の滝ふるさと民芸館などが挙げられるが、山あげ会館には年間1万人程度の入場者があり、今後は観光の拠点施設として活用していくことを検討したい。また、山あげ祭、いかんべ祭、八溝そば祭などイベントがあると、観光入込数が多くなる。

⑤地域産業・経済を取り巻く状況変化への対応

事務局）資料に基づき説明した。

～ 質疑なし ～

⑥安全安心なまちづくりへの対応

⑦老朽化の進む公共施設への対応

事務局）⑥、⑦については、現在策定中の公共施設等総合管理計画を踏まえて検討していくこととする旨説明した。

～ 質疑なし ～

(2) 現総合計画の成果指標に対する検証について

会長) 現総合計画の成果指標について、基本目標ごとに検討していくこととする。

○まちづくり編

①基本目標1 居心地の良い安全なまちづくり

事務局) 資料に基づき説明した。

委員) 公共交通網として、JR 烏山線が今年のリニューアル改正ですべてアキムに変わるとのことであるが、宇都宮駅への直通が増便されるのか。

事務局) 増便されるようだが、詳細については把握していない。

委員) 下水道整備の水洗化率について、南那須地区は定着しているが、烏山地区はあまり定着していないようである。居住者の高齢化や工事費用が無い等の問題もあるかとは思ふ。また、合併処理浄化槽の設置の交付金をもらった後に、公共下水道に加入する場合などがあるのではないかと。公共下水道加入への意識が低いように思うので、高めるような施策等を計画に盛り込んでどうか。

委員) 合併処理浄化槽交付金については、公共下水道の区域外を対象として交付している。町内で公共下水道の加入率が伸びない理由は、町内の土地に係る独特の問題があり、加入が難しい状況になっていることである。次期総合計画には公共下水道の加入率を上げるための施策等も必要ではないか。

委員) デマンド交通については、高齢者のみの世帯が増加しているため、ありがたい事業である。しかし、現状として使い勝手が悪く、より使いやすいようにしていただきたい。同世帯に若い者がいれば送迎してもらえる。最近、地元自治会内で高齢者の送迎を実施してほしいとの話も上がっている。

会長) 今後の高齢化の進行に伴い、地域独自の施策も必要と思う。

委員) デマンド交通の制度自体が良く分からない。利用の方法はどのようにするのか。

事務局) 烏山地区ではタクシー会社2社が七合地区、境地区をそれぞれ担当し、自宅から町内については1回300円で利用できる。七合地区から町内を経由して境地区へというような場合には600円になってしまう。利用するには、きずなサービスセンターを通して予約しなければならない。現在、利用方法等の向上に向けて検討しているところである。

委員) デマンド交通は、地域内のコミュニティーの差もあると思うが、地区によって利用率に大きな差があるようだ。

事務局) 境地区は利用率が高い。タクシー会社によっても差があるようである。

会長) 高齢者の移動手段の確保は重要な事項である。

委員) 社会福祉協議会では、障がい者や要介護者など交通弱者に対し、福祉タクシー券として初乗り券を1ヶ月4枚配布している。月2回、市内の病院に通院できるのだが、地区によっては、1回で4枚使い切ってしまう場合がある。近年、利用者が増加傾向にあるため、通常のタクシー料金の半分の補助する制度や、福祉タクシーを運営するNPO

法人を立ち上げるなどの施策はできないか。

会長) 色々な事業を組み合わせるなど検討する必要があると思う。

②基本目標2 安心して暮らせる思いやりのまちづくり

事務局) 資料に基づき説明した。

委員) 妊娠・出産・育児に対する切れ目ないサービスについて、実際に若い人達が望んでいる施策について十分な検討が必要と思う。他市町とのサービスの差や若者のニーズを調査・検討し、総合計画に反映させなければならない。聞いた話ではあるが、8ヶ月の子どもを保育園に預けるため連絡したところ、あまり対応が良くなかったとのことである。若者が住んで、子どもを生み、育て、定住してもらえるような施策が必要であると思う。

会長) 「切れ目ないサービス」を特出しして本市をアピールするなど、こういった施策に力点を置くのも一つの手法と考える。

委員) 高齢者福祉について、ふれあいの里やサロンの設置に地域間で格差がある。高齢者が集まる場所として、自治会単位で設置することとしているが、現在設置している自治会は半分程度であり、施設についても段差があったり、トイレが洋式化されていなかったりと集まりづらいところもある。これらを踏まえ、子どもから高齢者まで集まることのできる施設を設置するため、公民館のバリアフリー化への補助等の施策を盛込んでほしい。

会長) 高齢者福祉対策として、地域にはこういった施設が必要であり、施設整備に係る施策が必要であると考えます。

③基本目標3 人と文化を育むふれあいのまちづくり

事務局) 資料に基づき説明した。

委員) 先日の新聞に、小山市内の全部の学校図書館に司書を配置する旨の記事が掲載されていたが、本市では学校図書館に司書が配置されていない。学校では司書の代わりに先生が対応しているが、授業やその準備などの本業に支障が出てしまうと思う。高根沢町では、図書館の司書を学校に派遣して対応しているようである。子どもたちにとって読書は重要なことであり、学校図書館のあり方について対策を考えてほしい。また、ジパングについて、各種の講演会に参加しているが、市として盛り上がりに欠けているように感じる。受講者は多くなっているが、市民の認知度は低いように思う。積極的に推進するような施策が必要と思う。

会長) 地域の盛り上がるような、きっかけづくりが必要と思う。

委員) スーパーティーチャー育成事業とはどういったものなのか。

事務局) 本年度からの事業で、市内各小中学校の教諭1名ずつ計7名を、年2回、福井県に派遣し、授業の見学や交流を通して指導のノウハウを習得してもらおう事業である。その後、参加した先生方に各学校内で指導してもらい全体的なレベルアップを図るものである。来年度も福井県に派遣する予定である。

委員) 秋田県への派遣は検討されたのか。秋田県東成瀬村は学力向上に力を入れている村であり、資料等を取寄せて研究するだけでも有意義であると思う。

事務局) 教育委員会において検討の結果、平成 28、29 年度は福井県となったと聞いている。

委員) 福井県は全国的にみて学力が高い県なのか。

事務局) 全国学力学習調査において上位の県である。栃木県は学科によって差はあるが、全体的に見て下位のほうに位置している。

④基本目標 4 活力あるにぎわいのまちづくり

事務局) 資料に基づき説明した。

委員) 先日、今年の人口動態が発表になり、栃木県全体では減少、宇都宮市、小山市等の数市町は増加しているが、本市などは減少している状況である。ジパークについては、今まで登録された地区は海岸線が多く、本市が登録されれば県内初であり、大きなPRになると期待されるが市民への周知が十分ではないように感じる。また、山あげ行事のユネスコ登録も同様であるが、市民に周知されているか疑問である。地元では継続できるかどうか危機感があり、市全体で盛り上げていかないと人がいなくなってしまう。本行でも烏山出身者はいるが、宇都宮市在住がほとんどである。他市町より優位性があることをしていかないと人口流出は止まらないと思う。各種の事業を展開しているが、どれに軸足を置いていくか検討が必要と思う。ジパークや道の駅などは誘客に効果があると思うし、山あげ祭や烏山城築城 600 年などは、取り上げ方によっては成果が上がるのではないかと思う。

委員) 若い人へのアンケートを見ると、本地域が好きであることが見受けられるが、人口減少は避けられない問題であり、これを前提とした事業の推進を図っていかねばならない。現在の経済情勢からすると、新規に企業誘致などは難しいと思われ、あるものを活かす事業展開が必要であると思う。本市では地場産業が農業であるため、6次産業化や農商工連携が必要であるが、那珂川町のように第3セクターを設置して、各方面への対応等が取り易く、動きやすいようにしてはどうか。また、本市には観光客の宿泊施設が少ないため、農家ツーリズム、民泊等を利用するなど受け入れ体制を整備する必要があると思う。

⑤基本目標 5 自然や環境を大切に次代へつなぐまちづくり

事務局) 資料に基づき説明した。

委員) 本市の観光地である龍門の滝について、観光客から「水が汚れていて臭い。残念だ。」との話を聞く。江川の水質浄化など検討しているのか。

事務局) 江川の流域であるため本市だけの問題ではないが、流域には公共下水道の区域はなく、生活雑排水が流入しているものと思われる。

委員) 江川は、農業用排水に利用されており、時期的に、特に渇水時期は臭うのかもしれない。

委員) 観光地として有名で、秋には鮭も遡上しているところであり、対応が必要ではないか。

委員) 観光スポットであり、年間3万人程度の観光客が訪れているため、何らかの対策が必要と思う。

委員) カブラーについてであるが、自然環境保全の面から考えると、山を切り開いて設置するため環境破壊と思われ、今後検討が必要と思う。

○行政経営編

⑥基本目標6 自然や環境を大切に次代へつなぐまちづくり

⑦基本目標7 自然や環境を大切に次代へつなぐまちづくり

⑧基本目標8 自然や環境を大切に次代へつなぐまちづくり

会長) 行政経営編については、市役所内部の事務についてであり、事務局において検討し掲出することとする。

(3) その他

会長) その他何かあるか。

事務局) 次回の審議会には、今まで出された意見等を踏まえて、基本構想の方向性(骨子案)を提示し、検討していただく。骨子案に反映させるため、何か追加したい意見等があれば、事務局まで連絡していただきたい。

4 その他

①次回の日程

事務局) 次回の審議会は、3月22日(水)午後を開催するので、予定しておいていただきたい。

5 閉会

事務局) その他特になければ、終了する。 午後3時55分終了